



越田市長への要請書

5月7日、日本共産党議員団は、越田謙治郎市長に対して、「市立川西病院の指定管理者制度をやめ、直営での再建をめざすこと、及び、早急に市民説明会を開催し、情報提供・説明責任を果たすことを求める要請書」を提出。懇談を行いました。(文面は以下の通り)

4月26日(金)午前9時30分、市立病院整備調査特別委員会委員(黒田)への報告として、小田秀平副市長、作田哲也理事(病院改革推進担当)が資料を持って説明に来られました。

市立川西病院の管理運営において、4月1日からの指定管理者制度導入開始時から、7:1看護に必要な看護師が確保できておらず、急性期病棟のうち、2病棟をER(救急専門)病棟としていたこと。このことによる看護師の労働環境悪化により、5月末で9人の退職が明らかになったこと。5月から年休消化が予想されることから5月1日より、4階北病棟を休床(37床減)、10:1看護に体制を変更するという内容でした。

看護師確保を急ぎ、体制の回復を目指すとの説明でしたが、日本共産党議員団として、一般質問等はもちろん、議員協議会、今年度の予算委員会、病院事業会計予算委員会、幾度も開催された市立病院整備調査特別委員会で「職員配置・確保」のことは何度も確認をしてきたにも関わらず、この状況になっていることに驚愕し、市民の命の砦である病院の管理運営に関しての市の無責任さに憤りを隠せません。

資料によると、5月1日から10:1看護体制にしたとしても看護師の必要数が3人足りません。まして早期回復としている体制も直営であった3月末までの体制回復ではなく、2病棟をER運用としての7:1看護にするという内容ですから、「3月までの現状と変わらない・維持する」と答弁していた内容と全く異なります。

これは指定管理者公募の内容からも逸脱します。

このような市の政策に大きく関わる内容の報告を特別委員会委員に連休前に伝えるというあり方も納得できるものではありません。

全国で指定管理者制度導入に踏み切った自治体で、医師・看護師等確保がうまくいかない例が散見され、市としても十分予想されたことです。この問題について市は、「協和会に3000人の職員が居る」と豪語・答弁してきたにも関わらずこのような状況を招いていることは、議会軽視・市民軽視に他ならず、その場限りの答弁だったとしか感じられません。

他自治体の状況をみれば、このような状況が早急に改善できるとは思えません。他職員に影響が及ばない間に、市民・地域の医療確保のため、また、これ以上医療の低下にならないよう、議員団が予算要望書で提出していた内容「市立川西病院を公立病院として堅持、地域医療を確保すること。北部に医療の空白地をつくらないこと。市の構想(案)は一旦立ち止まり、2015年度発表の計画通り、北部での建替えを基本的に1市3町で考えていくこと」を改めて強く要請すると共に下記の事項を早急を実施・明らかにすることを要請します。

詳細な数字については、資料の提出でも構いません。

記

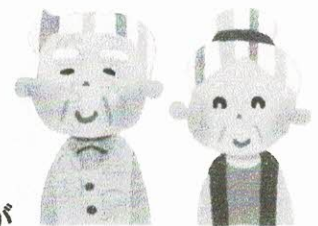
- 1、情報提供・説明責任を果たす市民説明会を早急に開催すること
- 2、議会での報告・説明を行うこと
(どちらも協和会関係者の出席を求める)
- 3、2019年3月までの状況の詳細(※1)を明らかにすること
- 4、2019年4月からの状況の詳細(※2)を明らかにすること
- 5、市立川西病院内、患者・ご家族への情報提供を徹底することについて
- 6、市立川西病院を公立病院(直営)として堅持、地域医療を確保すること。北部に医療の空白地をつくらないこと。市の構想は一旦立ち止まり、2015年度発表の計画通り、北部での建替えを基本的に費用負担の在り方を含め、1市3町で考えていくこと

※1~月別 稼働ベッド数の詳細、入院・外来患者数、入院稼働率、救急搬送数、看護師必要数・配置数について
医療機器レンタル、購入の実態
それぞれ、過去5年間の推移について

※2~※1の内容と同じもの
及び、常勤職員のうち、市から移籍した職員、協和会から異動者数別、新規採用数、それぞれの勤続年数について、「常勤」の内容の詳細について
市から移籍した職員の労働契約の内容・詳細について
以上

情報提供のお願い

市立川西病院の患者さんやご家族の方々から様々な声をいただいています。



「4階が混乱しているが」「〇〇先生が辞めるから違う病院へ行ってくださいと言われた」「紹介状がなければ診ることができないと言われた」「この程度の症状で来ないでくださいと言われた」その都度、市の担当者に確認をしますが、「そんなことは無い」ということになっています。市立川西病院は、管理運営が協和会になったものの、従来通り「直営」の時と何も変わらないと繰り返し説明を受けています。しかし、実際には、「たんぽぽだより 201号」記事のようなことが起きています。

地域医療を守るためにも、ぜひ、お気付きのことなどあれば教えてください。よろしくお願ひします。

- *黒田 自宅FAX 790-3055
- *議員団FAX 759-1811 直通
- *黒田携帯 090-9987-7909
- アドレス kuromamecha@ezweb.ne.jp

